年　　月　　日

誓　　約　　書

札幌市長　秋元　克広　様

私は、以下のことを誓約します。

　１　本事業に係る市有財産貸付契約を締結する能力を有しない者ではないこと。

　２　破産者で復権を得ていない者ではないこと。

３　札幌市との契約等において、地方自治法施行令（昭和22年政令第16号）第167条の４第２項各号のいずれかに該当すると認められる者で、その事実があった後３年を経過しない者ではないこと。また、その者を代理人、支配人その他の使用人として使用する者ではないこと。

　４　不渡手形又は不渡小切手を発行して、銀行当座取引を停止された者で、２年を経過しない者でないこと。

５　会社更生法に基づく更生手続き開始の申立て又は民事再生法に基づく再生手続き開始の申立てがなされている者ではないこと。

　　（ただし、更生計画認可決定又は再生計画認可決定がなされている場合は、この限りでない。）

　６　札幌市暴力団の排除の推進に関する条例（平成25年条例第６号）に基づき札幌市が発注する建設工事その他の事務又は事業の執行により暴力団の活動を助長し、又は暴力団の運営に資することのないように、暴力団員及び暴力団関係事業者を入札、契約等から排除していることを承知していること。

　７　次に掲げる者のいずれにも該当せず、また、今後もこれらの者に該当することのないこと。

⑴　役員等（申出者が個人である場合にはその者その他経営に実質的に関与している者を、申出者が法人である場合にはその役員、その支店又は営業所（常時契約を締結する事務所をいう。）の代表者その他経営に実質的に関与している者を、申出者が団体である場合は代表者、理事その他経営に実質的に関与している者をいう。以下同じ。）が、暴力団（札幌市暴力団の排除の推進に関する条例（平成25年条例第６号）第２条第１号に規定する暴力団をいう。以下同じ。）又は暴力団員（札幌市暴力団の排除の推進に関する条例第２条第２号に規定する暴力団員をいう。以下同じ。）であると認められる者。

⑵　役員等が、自己、自社若しくは第三者の不正の利益を図る目的又は第三者に損害を加える目的をもって、暴力団又は暴力団員を利用するなどしていると認められる者。

⑶　役員等が、暴力団又は暴力団員に対して資金等を供給し、又は便宜を供与するなど直接的あるいは積極的に暴力団の維持、運営に協力し、若しくは関与していると認められる者。

⑷　役員等が、暴力団又は暴力団員であることを知りながらこれを不当に利用するなどしていると認められる者。

⑸　役員等が、暴力団又は暴力団員と社会的に非難されるべき関係を有していると認められる者。

８　上記７の各号に掲げる者の該当の有無を確認するため、札幌市から役員名簿等の提出を求められたときは、速やかに提出いたします。

　９　札幌市暴力団の排除の推進に関する条例第13条第２項に基づき本申出書及び役員名簿等が札幌市から警察その他の関係機関に提供されることに同意いたします。

　10　使用する下請負人等が、本申出書７の各号に掲げる者に該当する事業者であると札幌市が北海道警察本部から通報を受け、又は札幌市の調査により判明し、札幌市から下請契約等の解除又は二次以降の下請負等にかかる契約の解除の指導を受けた場合は、当該指導に従います。

　11　本申出書に関して事実と相違する場合、「『子どもの体験活動の場』運営事業者選考に係る公募型企画競争」に参加できないと認定されても異議のないこと。また、参加申込受付後に事実の相違が発覚した場合、参加申込を無効とされても異議のないこと。

|  |
| --- |
| 　住所　名称・法人名役職名・代表者名　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　㊞ |

※本様式は代表事業者及び構成員の全てについて、それぞれ１枚ずつ作成すること。